

個別外部監査実現を

長井海の手公園 整備事業 5市議が署名活動

横須賀

横須賀市の長井海の手公園整備事業で、事業グループの選定方法などに問題があるとして、横須賀市議会の木村正孝氏（無所属）ら五市議が二十六日、個別外部監査を求める事務監査請求書を市監査委員に申請した。一月月の期限で一万人を目指す署名活動を近く展開する。（佐藤 浩幸）

長井海の手公園整備は、事務監査請求書では、同市初のPFI（民間資金の活用による社会資本整備）事業。米軍長井住宅跡地（約二・二移）に総合公園を整備する。十年分の維持管理費を含めた総事業費は約七十六億円を見込んでいる。二〇〇五年四月の開園を目指すし、今年一月に着工した。

同整備に関しては①選定された事業計画と当初の基本計画の整合性②PFI手法の契約の妥当性③市幹部や選定委員らが選定事業者の施設を事前に数回視察している点などに問題があると指摘。「市の内部監査よりも公正・公平である」（木村氏）として個別外部監査

を求めている。

個別外部監査を実現するためには、一月以内

一（七千五百五十二人）以上の署名を集め、監査契約の議案を市議会に提出。議会で可決される必要がある。ただ、議会で否決されても、内部監査は行われる。木村氏は「工事は始まっているが、今後のPFI事業のためにも正すべきは正し、修正すべきは修正すべきだ。ぜひ一万人の署名を集め、市議会六月定例会に関連議案を提出したい」と話している。

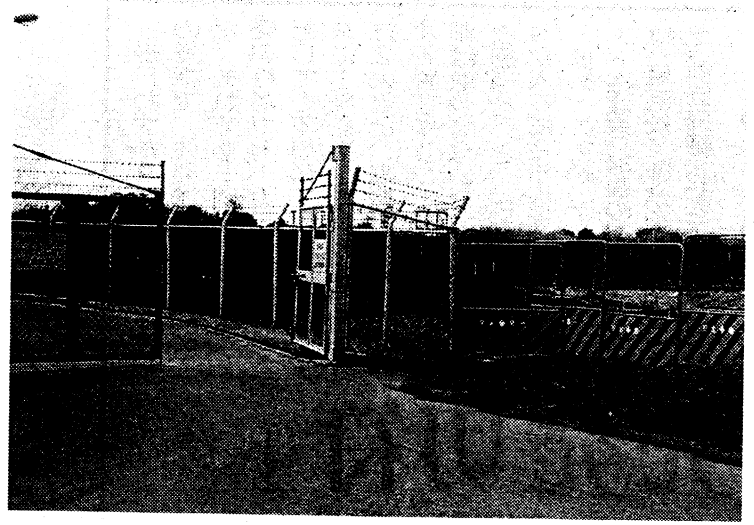
市議5人が外部監査請求

横須賀「海の手公園」工事契約

横須賀市長井で建設中の「長井海の手公園」を巡って、木村正孝市議ら無所属議員5人は26日、「業者の選定や契約方法が不明朗であり、改めて外部監査を求め」と市監査委員に申請した。

ら契約業者への肩入れが濃厚だった」とし、「地元町内会の協力のもと、1万人の署名を集めた」と話す。同公園は旧米軍住宅地の約20移で、市が初のPFI（民間資金活用によ

る社会資本整備）事業として推進。4業者の応募があり、昨夏に「横須賀ファーム」（横須賀市日の出町）と契約を結んだ。05年4月の開園を目指し、基礎工事が始まっている。【網谷利一郎】



工事が進む長井海の手公園予定地
横須賀市長井

外部監査の請求は同市では初。監査委員の審査後、1カ月以内に有権者の50分の1（7152人）の署名、押印が集まれば議案提出となり、市議会で討議される。木村議員は「選定委員会（外部5人、市幹部4人）で評価が割れたのに市幹部の多数で決めた。76億円もの契約書類を宅配便で送るなど、最初か